

諏訪圏ものづくり元気発信プロジェクト ～取引構造変化に対応した地域技術力アピール～事業

取組に至る背景・事業の目的

- 世界的な不況の中で、諏訪地域の製造業が主とする部品加工という下請け依存型から、ユニット・完成品受注への移行、更には環境・医療などの成長分野へのシフトを図る中で、次世代へ、ものづくりの技・DNAを伝承していく必要がある。
- 「諏訪圏工業メッセ」を活用して、諏訪地域ものづくり産業の元気を発信し、それらが諏訪地域の観光・商業等のあらゆる産業に波及していくよう、地域の企業・行政・支援団体・市民が一体となって「諏訪圏工業メッセ」を開催し、情報発信・交流を推進する。

事業内容

- 諏訪圏工業メッセ2010の開催
 - ・平成22年10月14日(木)～16日(土)
 - ・商談成立に向けた「キャラバン隊」訪問
 - ・出展効果を高めるセミナーの開催
 - ・大手メーカーとの商談コーナーの設置
- 関連イベントの実施
 - ・記念講演会
 - ・プレゼンテーションコーナーの実施
 - ・家族ものづくり体験コーナーの実施
 - ・特別展示「世界を変えた時計開発史」
 - ・信州の匠の技伝承コーナーでの実演



【 諏訪圏工業メッセ2010 】

事業効果

- 来場者 24,180名。出展企業 255社、456ブース
- 経済効果
 - ・出展を契機とした商談成立企業：64.4%、新規受注獲得企業：17.7%、商談継続企業：60.2%
 - ・直接的経済効果：約3億4千万円(出展者製品費用、来場者消費等)
- 地域内外の企業や行政・各種団体・大学等との交流により、連携のきっかけづくりと市場ニーズの把握・情報収集が容易になるとともに、新規産業の創出や連携による技術力向上も見込まれ、人的面・技術面でより緊密なネットワークの形成が図られた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 開催に当たり、「出展者目線」から「客先(企業)目線」での課題を発掘することに努め、具体的な成果が出るように、従来のコンサルタントによるセミナーでなく、諏訪地域の経験豊富なアドバイザーによる「展示会活用セミナー」を開催した。
- より具体的な商談に結び付くよう事前の仕込みを行うなど、ビジネスマッチングのサポートに注力し、海外6カ国7社・国内7社の医療・航空機器、自動車部品、電子機器等、大手メーカーの購買担当者を招聘しての商談会は、延べ123件の商談が繰り広げられ、商談成立等の多くの成果を得ることができた。
- メッセ2010プレイベントとして、夏休み期間中に、諏訪地域のものづくりを学習し、未来の技術者を目指してもらおう「家族ものづくり体験ツアー」を開催。親子で「ものづくり」について学んでもらい、未来の技術者・ものづくり人材を育成する良い機会になった。

【選定のポイント】

行政、経済、産業団体等が一体となって開催する事業であり、出展を契機とした商談、継続案件など「SUWAブランド」の拡大浸透により、諏訪地域の産業振興に大きく貢献している。

団体名 諏訪圏工業メッセ実行委員会(諏訪市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 電話 0266-54-2588	事業費	74,688,067円
	支援金額	14,934,581円